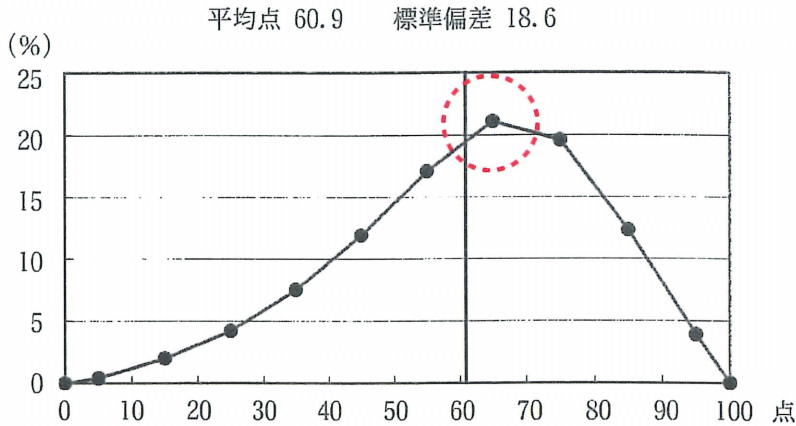


資料：英語の実力が二極化している

Ⅲ 受検者の得点分布

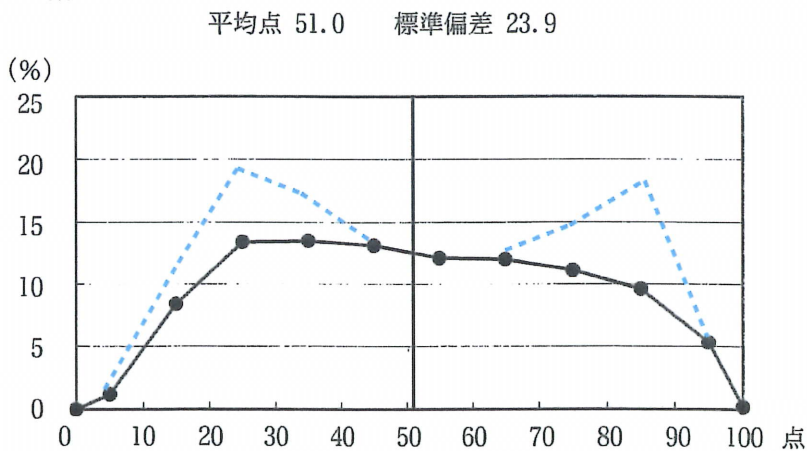
各グラフは、学力検査の受検者のうち全日制の課程の受検者20,498人（理数科、外国語科及び国際関係に関する学科の受検者は除く。）のデータを集計したものである。

1 国 語



この資料は、千葉県教育庁公表の平成20年度受検結果を、科目の記載順を変え加筆したものです。

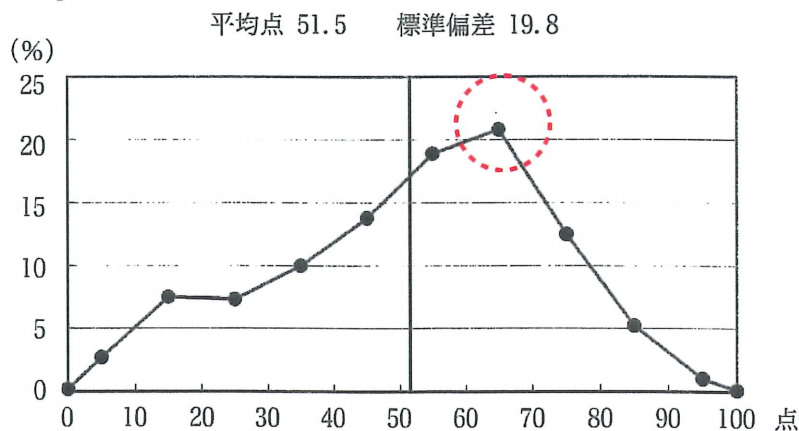
2 英 語



国語と数学は、高い山が1つでき、ピークが平均点よりも高い得点の位置にある一般的な得点分布になっているのが分かります。

しかし英語は丘のような形状になっており、年によっては2つの山ができることもあります(青の点線を加筆)。また、ピークらしいものはありません。しいて言うならば平均点よりも低い位置にあります。

3 数 学



このデータは英語について「英語は簡単だ」と思う生徒の層と「難しい」と思う層の二極化を示していると言えます。